

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【公開番号】特開2007-124828(P2007-124828A)

【公開日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2007-018

【出願番号】特願2005-314676(P2005-314676)

【国際特許分類】

H 02 K 1/02 (2006.01)

H 02 K 1/18 (2006.01)

H 02 K 29/14 (2006.01)

【F I】

H 02 K 1/02 Z

H 02 K 1/18 C

H 02 K 29/14

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ハウジングの内周面に固定されたステータコアと、前記ステータコアに巻線されたコイルと、回転自在に配置されたシャフトと、前記シャフトの外周面に固定されたロータコアと、前記ロータコアの外周面に固定されたマグネットと、前記ロータコアの外周側に配置されて前記ハウジングに固定されたステータと、前記ハウジングに固定されて前記シャフトの両端側を回転自在に支持する複数の軸受とを備え、前記ステータコアと前記ロータコアは電磁鋼板を複数積層した積層コアで構成され、前記ステータコアは、その積層コアの板厚が、前記ロータコアを形成する積層コアの板厚よりも薄く形成され、かつ鉄損を含む磁気特性が良い電磁鋼板で構成されてなる回転電機。

【請求項2】

請求項1に記載の回転電機において、前記ステータコアは、分割コアで構成されてなることを特徴とする回転電機。

【請求項3】

請求項1または2に記載の回転電機において、前記シャフトには前記ロータコアに隣接してレゾルバロータが固定され、前記レゾルバロータに相対向してレゾルバステータが配置され、ブラシレスモータを構成してなることを特徴とする回転電機。

【請求項4】

ハウジングの内周面に固定されたステータコアと、前記ステータコアに巻線されたコイルと、回転自在に配置されたシャフトと、前記シャフトの外周面に固定されたロータコアと、前記ロータコアの外周面に固定されたマグネットと、前記ロータコアの外周側に配置されて前記ハウジングに固定されたステータと、前記ハウジングに固定されて前記シャフトの両端側を回転自在に支持する複数の軸受とを備え、前記ステータコアと前記ロータコアはコア材を複数積層した積層コアで構成され、前記ステータコアは、その積層コアの板厚が、前記ロータコアを形成する積層コアの板厚よりも薄く形成されてなる回転電機。

